

「砦 TORIDE」 公演のお知らせ

～その夫婦は誰よりも故郷を愛していた、故郷で老いることが幸せだと思っていた～

出演：村井國夫、藤田弓子、原口健太郎、浅井伸治、滝沢花野

- と き 平成30年3月20日(火) 開場 18時30分 開演 19時00分
- と ころ 開基百年記念・興部町総合センター
- 料 金 前売一般 2,000円/高校生以下 1,000円(何れも当日券は500円増し)※未就学児の入場はご遠慮下さい。
- チケット取扱所 興部町中央公民館、沙留出張所、興部町文化連盟所属団体、農協青年部、商工青年部、音楽室びーとる
- 内 容 「日本は戦争に負けた、それを思えばこれくらいの犠牲がなんです」
ダム建設予定地の住民に投げ掛けた職員の言葉に一人の男が立ち上がった。
犠牲となるのは戸数21戸の小さな集落。男はダム建設予定地に砦を立て、アヒルや牛も反対闘争に参加させた。機動隊に糞尿を撒き散らし、果ては水中乱闘事件までに発展してゆく。闘い続けた男と、それを見守る女。故郷を愛した夫婦の物語！
- 主 催 文化庁、公益社団法人日本劇団協議会
- 制作協力 興部町教育委員会
- 協 力 興部町文化連盟、オホーツク・おこっぺ芸術劇場実行委員会
- 問い合わせ 興部町教育委員会社会教育課 Tel.82-2552

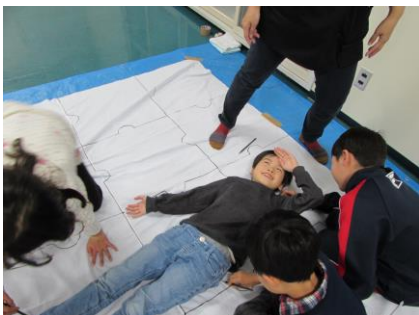
事業報告

「世界一大きな絵2020 興部町」 12月26・27日実施

NPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクト主催の「世界一大きな絵2020」事業を図書館お泊り会で実施しました。この事業は、世界の子どもたちが、国や宗教・人権を超えて一枚の「世界一大きな絵」を完成させることにより、共通の喜びを分かち合い、情操を育み、世界平和に対する意識を育てていくことを目的としています。北海道教育委員会は本事業の趣旨に鑑み、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組として、平成31年12月までに道内全市町村における事業実施を目指しているものです。完成した絵は、毎年6～7月ごろに羽田空港第1ターミナル6階「スカイギャラリー」において展示され、2020年に各地で描かれた絵をつなぎ合わせ、「世界一大きな絵2020」を完成・発表後、2021年に広島市の平和資料館に収められる予定です。



●世界一大きな絵2020ウェブサイト <http://www.bpw2020.com/>



テーマは『Dreams come true... Okoppe』 子どもたちが将来なりたい職業を等身大で表現しました。